

対 応 機 能 一 覧 表

【レベル】○：必須
△：任意

【判 定】○：既存機能で対応可能
△：カスタマイズ又は代替手段等で対応可能

×：対応できない

事業者名

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
1	サーバー	サーバー	下妻市役所 3 階サーバー室内の情報主管課が指定するサーバーラックに設置できるラック型であること。 (コンソールもラックマウント型とする)	○		
2			システム使用時に遅延等が少ない等、ユーザがストレスを感じることなくシステムを利用できるレベルの性能を有すること。 (参考OS及びスペック OS:MicrosoftWindowsServer2019、CPU:インテル Xeon3. 4GHz、メモリ:16GB、補助記憶装置 :HDD480GB)	○		
3			UPS及びバックアップ機器を付帯し、停電時のデータ保全、及び障害発生時のデータ復旧ができる機能を有すること。 なお、UPS及びバックアップ機器はラックマウント型でなくても可とするが、サーバ、コンソール、UPS、バックアップ機器で使用するユニット数は最大 8 ユニットとし、ラック内に収まること。	○		
4			ウィルス対策ソフト等を導入し、コンピュータウィルスの感染等の防止策を設けること。	○		
5	クライアント	クライアント	市職員が使用する内部情報系ネットワークに接続された職員端末（ノートパソコン）をクライアントとして使用できること。 ※職員端末OS及びスペック：OS:Microsoft Windows 10 Pro(64bit)、CPU:インテル Core i5-1235U (12th Gen) 1.30 GHz、メモリ:8GB、記憶装置:HDD240GB	○		
6			クライアントPCには、システムのクライアント用プログラムをインストールしてシステムを利用するかWEBブラウザからシステムを利用するものとし、ユーザーがストレスを感じないよう遅延の少ないクライアント環境を構築すること。	○		
7			クライアントPCは3台以上が同時接続し、利用できること。	○		
8			システムの利用に必要なアプリケーション、ライブラリ等のプログラムは受託者がクライアントPCにインストールすること。	○		
9	システム環境	ネットワーク	下妻市役所内、市役所担当課の執務室内のクライアントPC（職員端末）から内部情報系LAN（無線）によりシステムが利用できること。	○		
10	データベース	データベースソフト	データベースはリレーショナル型とすること。	○		
11			データベースはS Q L型とすること。	○		
12			データベースは、Microsoft SQLserver、SunMicrosystem Oracle等、一般的に普及されているものを用いること。	○		
13	地図ソフト	地図ソフト	世界測地系・日本測地系の座標データを取り込むことができること。	○		
14			導入実績の多い一般的な地図ソフトを用いること。	△		
15	ユーザー管理	ログイン処理	ユーザIDとパスワードを入力しシステムメニューを起動することができること。	○		
16		ユーザー権限	ユーザー権限ごとに利用できる機能に制限を設けることができること。	○		
17			ユーザー権限ごとの制限は操作ボタンごとに設定できること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
18	空き家 情報管理	空き家管理番号	重複していない管理番号を自動附番して管理すること。	○		
19			管理番号は文字列＋数値で管理ができること。	△		
20		空き家データのレコード	空き家の管理は建物ごとではなく、一体利用している敷地に複数の空き家がある場合であっても、1件として管理することが可能であること。	○		
21		管理項目 【共通】	空き家データ1件ごとの管理項目として、空き家の所在地区、住所、空き家ランク、特定空家等の認定状況、管理不全空家等の認定状況、空き家の覚知日、空き家の解消日、備考を登録、修正、削除できること。（必須項目）	○		
22			空き家データ1件ごとの管理項目として、空き家の大字、文書フォルダ番号、空き家を覚知した理由、空き家バンク登録状況、所有者不存在フラグ、伝言データを登録、修正、削除できること。（任意項目）	△		
23			ユーザーが任意で管理項目の追加、削除、編集（データ型の変更等）ができること。	△		
24			空き家の写真(1枚)を登録し、空き家情報表示画面に表示可能であること。 また、登録する写真は更新が可能であること。	△		
25		管理項目 【所在地区】	・所在地区（行政区など）を別テーブル（行政区マスター）で管理できること。 ・地区名は別テーブル（行政区マスター）からドロップダウンリスト等で選択による入力ができること。 ・行政区マスターの内容は追加、編集、削除が行えること。 （ただし、iniファイルによる管理等も可とし、必ずしも編集画面を設ける必要はない）	○		
26		管理項目 【所在地区】	・入力された空き家データは行政区順でソートできること。	△		
27		管理項目 【大字】	・所在地区（大字単位）を別テーブル（大字マスター）で管理できること。 ・大字は別テーブル（大字マスター）からドロップダウンリスト等で選択による入力ができること。 ・大字マスターの内容は追加、編集、削除が行えること。 （ただし、iniファイルによる管理等も可とし、必ずしも編集画面を設ける必要はない）	△		
28		管理項目 【所在地】	空き家の所在する住所は、大字マスターから選択による入力ができること。（大字部分のみ、地番等はべた打ち入力で良い）	△		
29		管理項目 【空き家ランク】	・空き家ランクを別テーブル（空き家ランクマスター）で管理できること。 ・空き家ランクは別テーブル（空き家ランクマスター）からドロップダウンリスト等で選択による入力ができること。 ・空き家ランクマスターの内容は追加、編集、削除が行えること。 （ただし、iniファイルによる管理等も可とし、必ずしも編集画面を設ける必要はない）	○		
30		管理項目 【特定空家等】	特定空家等の認定状況をブール型データで管理できること。	○		
31		管理項目 【管理不全空家等】	管理不全空家等の認定状況をブール型データで管理できること。	○		
32		管理項目 【空き家バンク登録状況】	空き家バンクの登録状況をブール型データで管理できること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
33	空き家 情報管理 (続き)	管理項目 【覚知日】	空き家を覚知した日付を管理できること。	○		
34			空き家を覚知した日付が不詳のデータは文字列で管理できること。 (日付型覚知日と別に文字列型の「覚知メモ等」のフィールドを設け「令和6年月日不詳」などを格納することでも可)	△		
35			空き家が解消された日付を管理できること。 (未だ解消されていない空き家についてはnull等の入力ができること)	○		
36		管理項目 【備考】	空き家に関するメモを管理できること。 備考欄はフリーの文字入力とし、改行も入力可能であること。	○		
37		管理項目 【備考】	空き家に関する複数のメモ項目を管理できること。 (現況メモ、履歴メモ、所有者メモなどの種別を分けてメモを管理することができる) 全ての備考欄はフリーの文字入力とし、改行も入力可能であること。	△		
38		管理項目 【特記事項】	空き家に関する重要なコメントを入力でき、データが入力されている空き家情報を開いた際にポップアップで特記事項を表示することができること。 なお、特記事項はフリーの文字列力とし、改行も入力可能であること。	△		
39		管理項目 【位置情報】	空き家登録情報画面から、空き家の座標を数値で入力して位置の登録又は修正ができること。	△		
40		画面遷移	空き家情報表示画面から所有者一覧を表示することができること。 (所有者一覧画面への遷移、モーダルなウィンドウで所有者一覧等を表示する、空き家情報表示画面に所有者情報タブを設けて表示する等でも可とする) ※所有者情報の表示画面は所有者情報の管理画面と同一でも可とする。	○		
41			空き家情報表示画面から所有者情報の管理画面に遷移できること。 (空き家情報表示画面からモーダルなウィンドウで所有者管理画面を開く、空き家情報表示画面に所有者情報管理タブを設ける等で空き家情報と所有者情報の管理画面が一体となっているものも可とする)	○		
42			空き家情報表示画面から履歴を時系列で表示することができること。 (履歴一覧画面への遷移、モーダルなウィンドウで履歴一覧等を表示する、空き家情報表示画面に履歴情報タブを設けて表示する等でも可とする) ※履歴情報の表示画面は、履歴情報の管理画面と同一でも可	○		
43			空き家情報表示画面から履歴情報の管理画面に遷移できること。 (空き家情報表示画面からモーダルなウィンドウで履歴管理画面を開く、空き家情報表示画面に履歴情報管理タブを設ける等で空き家情報と履歴情報の管理画面が一体となっているものも可とする)	○		
44			空き家情報表示画面から地図画面に双方向で遷移できること。 (地図画面に空き家情報表示画面をモーダルなウィンドウ等で重ねて表示する方式も可とする)	○		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
45	空き家 情報管理 (続き)	データ検索	空き家の所在地区、住所、空き家ランク、特定空家等の認定状況、管理不全空家等の認定状況、空き家の覚知日、空き家の解消日を検索キーとして空き家の検索が可能であること。 検索結果は一覧で表示し、一覧から選択することで空き家情報画面を開けること。	○		
46			すべての管理項目については検索条件として指定できること。	△		
47			空き家の覚知日、空き家の解消日で検索を行う場合は、指定日以前、指定日以降、指定期間での検索が行えること。 解消日はnull（データ無し）を指定して検索できること。	△		
48			住所をキーとして検索する場合は、「?」及び「*」等のワイルドカードによる部分検索等ができること。	○		
49			and条件又はor条件、not条件で複数の検索キーによる検索が可能であること。	○		
50			検索条件は、最大8つ以上設定できること。	△		
51			頻度の高い検索条件を登録し、検索条件を呼び出して再検索することができること。	△		
52			検索条件で抽出された空き家データをCSV形式のファイルで出力可能であること。	○		
53			検索条件で抽出された一覧を印刷できること。	△		
54		データ集計	データ集計機能を実施した時点の、特定空家等の認定件数、管理不全空家の認定件数、空き家ランクごとの件数を所在地区（行政区マスターの地区）ごとに集計ができること。	△		
55			上記の集計結果をMicrosoft Excel形式ファイルまたはCSVファイルで出力が可能であること。	△		
56			上記の集計機能は、毎月1回目のシステム起動時に自動で実行され、集計データを作成・保存することができること。	△		
57			空き家を覚知した日付（期間）又は空き家が解消された日付（期間）を指定し、所在地区（行政区マスターの地区）ごとに件数の集計ができること。 日付（期間）の指定については、指定日以前、指定日以降、2つの指定日間ですべて指定できること。	△		
58			上記の集計結果をMicrosoft Excel形式ファイルまたはCSVファイルで出力が可能であること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
59	所有者 情報管理	所有者マスター	空き家の所有者を空き家のデータとは別テーブルで管理し、1件の空き家に対し、複数の所有者及びその属性等の情報を管理することができること。	○		
60			所有者の追加、編集、削除が行えること。	○		
61			空き家の管理番号で空き家マスターと紐づけされ管理されること。	○		
62			所有者情報をCSV形式で出力できること。	△		
63		管理項目 【共通】	所有者の氏名、住所、所有者区分、連絡先、メモを登録、修正、削除できること。 (必須項目)	○		
64			所有者の生存／死亡区分を登録、修正、削除できること。 (任意項目) ※独立した項目での管理が難しい場合は、所有者区分項目と統合し、「相続人（生存）」「相続人（死亡）」等で管理することで対応とするが、当該項目の判定は×とする	△		
65			ユーザーが任意で管理項目の追加、削除、編集（データ型の変更）ができること。	△		
66		管理項目 【所有者区分】	・「登記名義人」「固定名義人」「相続人」「土地所有者」などの所有者区分を管理できること。 ・所有者区分は別テーブル（所有者区分マスター）で管理しドロップダウンリスト等で選択による入力ができること。 ・所有者区分マスターの内容は追加、編集、削除が行えること。 (ただし、iniファイルによる管理も可とし、必ずしも編集画面を設ける必要はない)	○		
67		管理項目 【連絡先】	連絡先欄は、単一の電話番号ではなく、「090-XXXX-XXXX（夫の携帯、日中の連絡可）090-XXXX-XXXX（本人、日中連絡不可）」のように、ベタ打ちで256文字以上入力可能であること また、改行の入力も可能であること。	△		
68		所有者検索	所有者名で空き家の検索が行えること。 検索結果は一覧で表示し、一覧から選択することで空き家情報画面を開けること。	○		
69			所有者名をキーとして検索する場合は、「？」及び「*」等のワイルドカードによる部分検索等ができること。	○		
70			所有者マスターすべての管理項目を検索条件として指定できること。	△		
71			検索結果をCSV形式で出力できること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
72	履歴情報管理	履歴マスター	空き家の履歴を空き家のデータとは別テーブルで管理し、1件の空き家に対し、複数の履歴を時系列で蓄積し管理することができること。	○		
73			空き家の管理番号で空き家マスターと紐づけされ管理されること。	○		
74			履歴の追加、編集、削除が行えること。	○		
75			履歴情報を時系列でCSV形式で出力できること。	○		
76			履歴情報を対応履歴表として印刷できること。	△		
77		管理項目【共通】	対応日、対応区分、苦情・相談内容、苦情種別、対応者を登録、修正、削除できること。	○		
78			ユーザーが任意で管理項目の追加、削除、編集（データ型の変更）ができること。	△		
79		管理項目【対応日】	履歴の発生した日付を管理できること。 必須項目とし、nullの入力はできないこと。	△		
80		管理項目【対応区分】	・苦情・相談、現況調査、ランク変更、通知送付などの対応区分を管理できること。 ・対応区分は別テーブル（対応区分マスター）で管理し、ドロップダウンリスト等で選択による入力ができること ・対応区分マスターの内容は追加、編集、削除が行えること。（ただし、iniファイルによる管理等も可とし、必ずしも編集画面を設ける必要はない）	○		
81		管理項目【ランク変更】	空き家ランク変更について、従前と従後のランクを選択して入力することができること。 またFランクへの変更（空き家が解消されたもの）については、除却によるものか、居住によるものか、その他の利用によるものかを記録できること。	△		
82			期間を設定し、空き家ランク変更の種別ごとに件数を集計することができること。	△		
83			上記の集計結果をMicrosoft Excel形式ファイルまたはCSVファイルで出力が可能であること。	△		
84			上記の集計結果から空き家ランク変更の集計表を作成し、印刷することができること。	△		
85		管理項目【苦情相談内容】	・苦情・相談内容を管理できること。 ・苦情・相談内容はベタ打ちの入力とし、改行も入力可能とすること。	○		
86		管理項目【苦情種別】	・苦情種別を管理できること。 ・苦情の種別は、発注者が提供する「苦情相談マスター」の「家屋の倒壊」「部材落下」「部材の飛散」「塀・付帯設備等の危険」「雑草の繁茂」「樹木の越境」「火災の恐れ」「防犯の恐れ」「動物の住み着き」「虫の発生」「ゴミ・物品の放置・投棄・散乱」「悪臭の発生」「相続に関する相談」「空き家の管理に関する相談」「その他」など。 ・苦情項目ごとにチェックボックスで選択するものとし、複数選択が可能であること。 (☐雑草・樹木の繁茂 ☐ゴミの放置 ☐家屋の倒壊危険…のような入力画面とし、それぞれ独立したフラグ項目を設けて管理する) ※苦情の種別については、ユーザが追加、編集、削除することが出来なくても良い。	△		
87			期間を設定し、苦情・相談の件数及び苦情種別ごとに件数の集計が可能であること。 (1件の苦情相談で複数の苦情種別が発生するため、苦情「種別ごとの件数」の合計≠「苦情・相談の件数」となる)	△		
88			上記の集計結果をMicrosoft Excel形式ファイルまたはCSVファイルで出力が可能であること。	△		
89			上記の集計結果から苦情集計表を作成し、印刷することができること。	△		
90			期間を指定し、相談受付、現況調査、通知送付の件数を集計することができること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
91	履歴情報管理 (続き)	管理項目 【対応者】	・対応者を管理できること。 ・対応者は別テーブル（担当者マスター）で管理しチェックボックス等により複数の対応者の選択ができること。 ※複数選択した場合は、「川井・中村」のように、セパレーターを入れた文字列を入力すること ・担当者マスターの内容は追加、編集、削除が行えること。 （必須ではないが編集画面を設けることが望ましい）	○		
92		履歴検索	対応日、対応区分、苦情・相談内容で空き家の検索が行えること。 検索結果は一覧で表示し、一覧から選択することで空き家情報画面を開けること。	○		
93			and条件又はor条件、not条件で複数の検索キーによる検索が可能であること。	△		
94			苦情・相談内容で検索する場合は、「？」及び「＊」等のワイルドカードによる部分検索等ができること。	△		
95			対応日で検索する場合は、指定日以前、指定日以降、期間指定が可能であること。	△		
96			すべての管理項目については検索条件として指定できること。	△		
97	関連画像・資料の保存	関連画像・資料の保存	空き家の写真（現況調査の画像ファイル）、ユーザーが作成した関連図やスキャナで読み取った資料のpdfファイルなど、関連ファイルを保存する機能を有すること。 ※保存に関しては、保存するファイルのメタデータをデータベース化する必要はなく、空き家1件に対し、資料の登録用フォルダを自動作成し、空き家情報表示画面からボタンクリックで、その空き家の登録用フォルダを表示する（フォルダを開くのみの）機能で良い。 （ユーザーがパスを意識することなく、システムからその空き家の登録用フォルダを開くことができ、ユーザーが手動で、画像ファイル等の関係ファイルを登録用フォルダに移動したり、登録用フォルダから手動でファイルを開くイメージ。） ※登録用フォルダには、ユーザーが自由にサブフォルダを作成できること。	○		
98	空き家バンク (空き家バンクの登録物件に関する管理機能－必須機能ではない)	空き家バンクマスター	空き家バンク登録物件の情報を管理することができること。 （空き家の管理番号、所在地、空き家バンクステータス、取扱い業者） また、登録物件は空き家マスターの管理番号で紐づけして管理することができること。	△		
99		取扱い業者マスター	取扱い業者は、別テーブル（取扱い業者マスター）で管理し、ダウンリスト等からの選択によって選択することができること。	△		
100			取扱い業者マスターのデータは追加、編集、削除することができること。	△		
101		地図表示	空き家バンク登録物件を地図画面に表示することができること。	△		
102		空き家情報との連携	空き家バンク登録物件は、空き家情報表示画面から、空き家バンク情報表示画面に相互遷移することができること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
103	地図情報 表示画面	表示・操作	マウス操作により地図をドラッグして移動させることができること。	○		
104			地物が保有する属性を基に地物を1色ずつ色塗りすることができること。	△		
105		レイヤ機能	カスタマイズにより、ハザードマップ、航空写真等をレイヤーに登録できる拡張性があること。	△		
106		空き家情報 表示機能	地図情上に登録された空き家から、空き家情報表示画面へ遷移することが可能であること。 (地図画面に空き家情報表示画面をモーダルなウィンドウ等で表示する方式も可とする)	○		
107			地図画面から位置を指定して空き家の新規登録ができること。 (又は空き家登録情報画面へ遷移することが可能であること)	○		
108			地図上の空き家の位置に合わせて、管理番号等が表示できること。 (地図画面でどの空き家なのかわかるように表示できること)	△		
109			空き家のランクによって、地図上のマーカーの色(又はシンボル)を設定できること。	△		
110			特定空家等の認定状況によって、地図上のマーカーの色(又はシンボル)を設定できること。	△		
111			管理不全空家等の認定状況によって、地図上のマーカーの色(又はシンボル)を設定できること。	△		
112		計測機能等	地図上でマウスにより指定した多点間の距離を計算することができること。	△		
113			地図上でマウスにより指定した多角形の面積を計測することができること。	△		
114			地図上で2点をマウスにより指定し、最短経路を地図上に描画できること。	△		
115			地図上で指定した時間及び距離で到達可能なエリアを地図上に描画できること。	△		
116		出力機能	任意のエリアと縮尺サイズを指定し、地図が印刷できること。	○		
117			空き家情報と空き家の所在地(世界測地系の座標)をKMLファイル等の標準形式(google mapで取り込むことができるフォーマット)で出力できること。	△		
118			地図上のオブジェクト、コメント、その他情報の印字の有無を設定できること。	△		
119			複数枚の用紙への分割印刷ができること。	△		
120			地図の印刷プレビューを表示できること。	△		
121			印刷位置やタイトル、余白の設定ができること。	△		
122			置情報のQRコードを印字し、スマホ等によりQRコードを読取現在の位置から空き家位置までのルートが表示できること。	△		
123		検索機能	地図画面で任意のエリアを指定し、エリア内の空き家を抽出できること。	△		
124			地図画面で指定した地点から任意の距離で半径を描画し、描画したエリア内の空き家を抽出できること。	△		
125			大字、小字等のエリアを地図上に描画し、描画したエリア内の空き家を抽出できること。	△		
126			エリア検索で使用するエリアを登録・削除できること。 また登録したエリアを呼び出しエリア内の空き家を抽出できること。	△		
127			地図で指定した点から距離・時間を指定して到達圏を地図上に描画し、描画したエリア内の空き家を抽出できること。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
128	帳票作成 ・出力	苦情・相談 受付票作成	空き家情報画面から苦情・相談受付票を作成できること。 （定型テンプレートに管理番号・所在地・所有者等を差し込んでファイルを作成する） なお、受付票はユーザーが任意に2次加工可能なMicrosoft Word又はMicrosoft Excel形式のファイルとし、当該空き家の関係ファイルの保存フォルダに出力するものとする	△		
129		ランク決定 票作成	空き家情報画面からランク決定票を作成できること （定型テンプレートに管理番号・所在地・所有者、現在の空き家ランク等を差し込んでファイルを作成する） なお、ランク決定票はユーザーが任意に2次加工可能なMicrosoft Word又はMicrosoft Excel形式のファイルとし、当該空き家の関係ファイルの保存フォルダに出力するものとする。。	△		
130		現況調査 表作成	空き家情報画面から現況調査表を作成できること。 （定型テンプレートに管理番号・所在地・所有者等を差し込んでファイルを作成する） なお、現況調査表はユーザーが任意に2次加工可能なMicrosoft Word又はMicrosoft Excel形式のファイルとし、当該空き家の関係ファイルの保存フォルダに出力するものとする。	△		
131		適正管理 依頼の作成	空き家情報画面から適正管理依頼通知を作成できること。 （定型テンプレートに管理番号・所在地・所有者等を差し込んでファイルを作成する） なお、適正管理依頼通知はユーザーが任意に2次加工可能なMicrosoft Word又はMicrosoft Excel形式のファイルとし、当該空き家の関係ファイルの保存フォルダに出力するものとする。	○		
132			適正管理依頼通知は、1件の空き家に対し、複数の所有者に対し作成できること。 作成する送付先は所有者一覧から複数任意に選択できること。	○		
133			同封する書類をチェックボックスで選択し、文末に同封書類に関する文章挿入可能であること。 （「除草業者一覧表」を同封いたします。等）	△		
134		法的措置に 関する帳票	「助言・指導」、「勧告」、「命令」、「戒告」、「代執行」等の法的措置帳票が出力できること。 なお、現況調査表はユーザーが任意に2次加工可能なMicrosoft Word又はMicrosoft Excel形式のファイルで出力するものとする。	△		
135			法的措置帳票は、1件の空き家に対し、複数の所有者に対し作成できること。 作成する送付先は所有者一覧から複数任意に選択できること。	△		
136		様式	すべての出力帳票は、市が指定する様式（テンプレート）に合わせること。 また、テンプレートファイルを編集することにより、ユーザーが文言などを修正できること。 ※ユーザーが指定されたフォルダに格納されたファイルを 手動で開いて修正する方法で良い。 ※窓あき封筒で対応する場合は、市と様式の協議を行うこと。	○		
137		送付支援機能	作成した文書を送付するための、ラベル作成又は封筒印刷などの送付支援機能を有すること。 ※窓あき封筒に対応した文書の作成、又はサブシステムによる対応も可。	△		

項番	大分類	小分類	機能要件	レベル	判定	備考
138	運用管理	ユーザー情報登録・変更	システム利用者とその権限の登録・変更・削除を行うことができること。	○		
139		バックアップ	データのバックアップを行うことができること。	○		
140		リストア	障害時などにバックアップデータからデータの復元を行うことができること。	○		
141		アクセス記録	システム利用の日時、ユーザーをログ管理すること。 記録したログ情報については、日時、ユーザー名等を条件にデータ抽出できること。	○		
142	その他	共通項目【表示】	システムの表示文字は明朝体とすること。 (MS 明朝、又はMS P明朝が好ましい) ※外字の表示対策のため	△		
143			地図画面、空き家管理画面のウィンドウは、ユーザーが任意にウィンドウサイズを最小化し、タスクバー内に格納できること。 なお、ウィンドウサイズの任意変更はできなくても良い。	△		
144		共通項目【入力】	各画面の入力項目は、マウスを使用しなくてもtabキー又はエンターキー等で次の入力項目に遷移すること。	△		
145			日付入力項目については、スペースキー押下等のユーザー操作でカレンダーを表示し、カレンダーの日付をクリックすることで日付が入力できる機能を有すること。 ※全ての日付項目に対応している。又は対応する場合に○、又は△とする。	△		
146		空き家情報以外の台帳管理	任意に空き屋情報とは別の管理台帳を追加できること。	△		
147			空き家管理以外の管理台帳に関しても地図システムを利用することができること。	△		
148		データ移行	既存のエクセルデータからシステムへのデータ移行が行えること。 (システム導入時のデータセットアップ) ※概ね対応可能な場合は○とする。	○		